

中村一子・前田幸子議員の議会報告会

市民グループ「風」より、二人の議員が誕生してからまる二年、議員任期の半分か過ぎた。この二年間の議会活動を振り返り、両議員から、これまで努力してきたこと、今後の取り組みや抱負等についての話があり、その後、全員で様々な問題について考え、話し合った。ざっくばらんな雰囲気の中、参加者より貴重な意見がたくさん出され、大変有意義な会となった。

① 中村議員より

- ・ 議会の透明さを求めて努力（情報公開）
- ・ 社会福祉が行き届いたまちづくり
（学童保育、保育園、地域医療、介護、バス事業など社会福祉の充実）
- ・ 議会をもっと町民の身近なものに（住民の意見が届く、町民の声が反映する仕組みをつくる）
- ・ 住民が自ら参加し、活動できる仕組みづくり
（町長と自由に話せる場づくり、ご近所を見守る自治会の役割を考えるなど）

② 前田議員より

- ・ 見えない議会を開かれた議会へ（情報公開）
- ・ おかしいことはおかしいと指摘していきたい
（税金の使われ方は適正か、町民の幸せにつながる方向に町は進んでいるのか）
- ・ 環境を守るために（レジ袋の有料化をはじめ、森林公園をより有効に大切に活用すべき）
- ・ 住民参画のまちづくり（積極的な公募制の導入、情報の共有）

③ 質問・意見

Q. 先日の火事について・・・「消防署の近くでありながらなぜ消火が遅れたのか」

現在、119番通報はまず金沢につながり、そこから地域に連絡が入ることになっている。今回の場合、場所が特定しにくかったこと、携帯電話からの通報であったことも消火が遅れた原因。広域システムの改善を図る必要があると考えられる。

Q. ポートピアについて・・・「どこまで話が進んでいるのか。さっぱりわからない。」

国交省への申請はまだ出ていない。警察協定もまだである。みどり市と町は昨年4月の協定締結以来、全く協議はなされていない。しかし、水面下でどのように進んでいるのか全く分からない。

Q. 監査請求については

3月24日、議員の政務調査費についての監査請求書を提出し、4月15日に意見陳述を行った。現在は、監査委員の判断を待っている状況だが、5月下旬には、返答があるはずである。他市町の事例などを見ても、当たり前前の請求であり、監査委員の公正な判断を望みたい。

大白台小の耐震工事の補正予算がなぜ計上されたのか？もうとっくに終わったと思っていた。他町と比べてなぜ遅れているのか。理由が知りたい。

“議事録ホームページ公開”についての記事を読んで爆笑。

ホームページの公開を指示した議員さんは子供か！（笑）若い子にこんな風に言われないようにまじめに討論してください。お願いします。

「風」つうしんを配っていて少しずつ変化を感じる。目に見える成果はないかも知れないが、真実を載せ続ければ、必ず分かってもらえる。「風」にはこれからも粘り強く、力強く、頑張ってもらいたい。

中村議員、前田議員には3年目を迎えて、町民の代表であるということを忘れず、これからも頑張ってもらいたい。

市民グループ「風」は、今後もいろいろな機会を設け、出来るだけ多くの方々と話しあうことが出来るように、頑張っていきたいと思います。